

心臓血管外科手術における術中大動脈解離の解析

1. 研究の対象

2011 年 4 月～2026 年 3 月に、高知大学医学部附属病院で心臓血管外科手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

心臓血管外科手術では、心臓や大動脈の手術治療を行う場所に血液がない状態を作って手術操作が円滑に進むよう、「体外循環法」を行います。これは、静脈から抜いた血液に酸素を十分に含ませて動脈から送り込むという方法です。血液は、大動脈や手足の付け根の動脈に管を入れて送りますが、稀にそれによって大動脈の壁が内外に裂ける「術中大動脈解離」を起こしてしまうことがあります。いったん発症すると命に関わることが多く、その対策がさまざまに検討されています。

私たちは、手術中にルーチンに使っている経食道心エコー（食道の中から行う心エコー）を用いて術中大動脈解離の診断を行っており、その結果、これまで術中解離を見つけた 5 名の方はすべて救命できました。ただ、人によって起こり方やタイミングなどはさまざまです。

そこで、本研究では、私たちが経験した 5 名分のデータや画像などを振り返りつつ詳細に検討し、発症のタイミングや時期、解離の場所、その影響などを明らかにしたいと考えています。そのような解析結果を用いて、あいにく解離が起こってきたときの早期診断、対処などの方策を構築できれば、救命率を高めることにつながるのではないかと期待しています。

研究期間は倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日までですが、データを利用する予定日は 2026 年 6 月 1 日からです。

3. 研究に用いる情報の種類

検討に用いるのは、電子カルテに保存されている年齢、性別、その他の身体情報の他手術の種類、CT 画像データ、エコー記録などで、いずれも個人を特定されない形で検討を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部 連繋医工学分野 渡橋和政（研究責任者）

[TEL] 088-888-2022 [e-mail] orihashik@kochi-u.ac.jp